

# 「ようこそ大学へ！プロジェクト」

## ―施設の子どもたちへの学習支援―

名古屋市立大学大学院人間文化研究科

谷口 由希子

二〇一四（平成二六）年八月八日、名古屋市立大学人文社会学部を中心に「ようこそ大学へ！プロジェクト―施設の子どもたちへの学習支援」を開催した。本プロジェクトは児童養護施設等で生活する子どもたちの大学生活体験企画である。当日は、名古屋市内の児童養護施設および母子生活支援施設で暮らす子どもたち四七名、大学生ボランティア（事前準備も含む）五四名、大学教員二一名が参加した。子どもたちは「名古屋市立大学一日学生証」を持ち、大学生ボランティアおよび大学教員が準備したプログラムに参加した。

その他、夏休みの宿題支援や学生食堂体験、大学生の生活紹介、キャンプス探検を行った。

児童養護施設で生活する子どもたちが大学に向くというプロジェクトは、全国的にも珍しい。本プロジェクトは子どもたち自身が大学の雰囲気を経験し、「現在の勉強の先にあるものを考える」というねらいもある。子どもたちが大学生や大学教員とともに時間を過ごすなかで、自分の将来像を考え、子ども自身が本来持っている能力を引き出すきっかけとなることを目的としている。なお、本プロジェクトは名古屋市立大学人文社会学部と名古屋市子ども青少年局子ども福祉課の共同企画である。当日は、岩城正光副市長の参加もあり、岩城副市長から子どもたちにメッセージが送られた。

その他、夏休みの宿題支援や学生食堂体験、大学生の生活紹介、キャンプス探検を行った。

教授らによる「心理学実験体験」（三研究室参加）など研究機関である大学ならではのものもある。

### ■当日のプログラム

9:50～10:00	受付（名札・プログラム・袋を受け取り着席する）
10:00～10:15	一日の説明（谷口由希子准教授） 学部長からごあいさつ（学部長 伊藤恭彦教授）
10:15～11:30	学習時間（持ってきた夏休みの宿題を行う）
11:30～13:00	学生食堂体験、大学探検（学食を体験してみよう！大学内の探検）
13:00～15:30	教授カフェ：研究室訪問（16研究室参加） （大学生とともに研究室を訪ね、大学の先生に質問してみよう！） 心理学実験体験（鋤柄教授、中川教授、久保田准教授） 大学生生活体験（アルバイト、部活、自由研究、旅行）
15:30～16:00	全体会（感想、歌唱「切手のないおくりもの」大学生による手話披露） 副市長からのメッセージ（岩城正光 名古屋市副市長） 学長からのお礼（郡健二郎 名古屋市立大学学長）



岩城正光 名古屋市副市長からのメッセージ



郡健二郎学長からのお礼

## ■参加者の声 【子どもたち】

・ドイツ語を教えてください。楽しかった。とうございました。楽しかったです。

・今回のプロジェクトに参加して大学に行きたいと感じた。

・苦手な学習も楽しく進めることができた。

・研究室で名刺をもらったのがよかった。

・本当にたのしかったです。とてもたのしいきかくで大学を見てとてもすごいなあーと思いました。その中で一番たのしかったのは、午後に行ったきょうじゅのへやをまわるやつです。いろんな話が聞けてとてもペンキヨウになりました。あと、本やおかしやジュースは本当にもらってもいいのかとしんぱいしました。とてもたのしかったです。

・大学生の人や先生方がとても優しく接してくれたこと、印象的です。勉強教えてもらった。大学の中を案内してもらったり、なんか大学にいるんだなって強く思って、谷口先生が「今日は一日名市大の大学生になる」と言っていたことが本当に体験できました。学食も

いっぱい種類があつてやっぱり高校までの感覚とは違うんだなって思いました！ご飯おいしかったです。広くて、自由に楽しかったです。午後の大学の中を歩いて回るのも、おもしろい実験や、不思議なことがいっぱい、小学生にまじって…というかいっしょに興奮してました(笑)。いろいろなブースがあつて、楽しかったですし、何より私たちのために用意してくれたんだと思うと、本当にうれしかったです！自分の中でも大学が近い存在になりました。

・とってもたのしかったです。ごはんもとってもおもしろかったです。おんがくのところは、いろいろながつきにさわれし、ひけたからとてもうれしかったです。あとさわりたいかつががつきがさわれてまじでうれしかったです。ほんとうにありがとうございます。

・私の将来の夢は、保育士です。私は小さい子が大好きでこの夢を持ちました。そのためには、勉強もがんばって大学に行かないといけないのでできれば、この大学に行きたいと思っています。大学にきて、



バランス感覚実験をする子どもたち

とてもたのしい体験がたくさ  
んできました。

・大学で一番楽しかったのは教授の研究室めぐりです。バスキン  
ド・ジェームズ先生や別所良美先生など色々な先生に出会い  
分らないことやまだ知らない  
ことなど色々なことを学べ  
たのがとても楽しい思い出  
になりました。中川敦子先生の  
実験がとっても楽しかったです。  
将来は中川先生みたいな  
認知神経心理学の先生になり  
たいと思いました。本当にあ  
りがとうございました。最後  
に大学のお兄さんやお姉さん  
と「きつてのないうくりもの」  
と言う歌を歌ったのもすてき  
な思い出になりました。また  
大学に遊びに行きたいです。



大学生と夏休みの宿題をする子どもたち



学生食堂体験

### 【付添職員】

- ・ 教授カフェも楽しく回っていきました。オタクな質問をして教授と対等に(?)話している子どもも、教授に「漢字が分からない」と言って辞書を引かせる(!!)子ども。優しく丁寧に対応いただきありがとうございます。
  - ・ 初めて訪れる大学の広さ、雰囲気にも緊張している様子の子どもの声かけや説明してくださり、帰るときには、来年も参加したいと話してました。
  - ・ 普段あまり関わることのない大学生と一日をいっしょに過ごせたことは子どもたちにとって、とてもよい経験となったと思います。子どもたちが大学生活を体験したことで今後の目標ができたり、学ぶことへの意識が変わるきっかけとなればと感じています。
  - ・ 進路の希望を聞いた際、「大学進学」と答える児童は大変少なく、その理由の一つにどのようなところがわからないとの言葉が聞かれます。言葉で説明するよりも実際に見て体験することで得るものはとても大きいと思います。参加
- 児童から自分の夢をかなえるために将来は大学に進学したいとの言葉も聞かれており、大変有意義な時間であったと感謝しています。
- ・ どの研究室の先生もこのイベントに協力的で、あたたかく迎え入れていただけただけのことを嬉しく思いました。
  - ・ 宿題を見てもらうのではなく、学生さんが子どもたちに授業してもらええる形も面白いかと思えます。



大学生による歌と手話の披露